

第2章

計画の内容

●各事業の区分●

新規

新たに取り組む事業及び既存事業の中から本計画に新たに盛り込む事業です。

継続

前推進計画に掲載されていた事業で、継続して実施する事業です。
前推進計画の複数の事業が統合された事業も含まれます。

2 計画の内容

目標(大項目) 1

あらゆる分野における男女平等・共同参画の推進

さまざまな分野における女性の参画の程度を示すジェンダー・エンパワーメント指数^{※1}は、109 か国中 57 位と低く、国においても女性が十分に活躍できる環境が整っていない状況にあります。

男女が平等に共同参画する社会を実現するためには、男女が、その性別に関わらず対等なパートナーとして家庭、職場、地域などあらゆる分野で共に責任を分かち合い、個性と能力を発揮できる社会環境をつくる必要があります。

【GEM(ジェンダー・エンパワーメント指数)】



出典：平成 22 年度版男女共同参画白書

※1 ジェンダー・エンパワーメント指数 (Gender Empowerment Measure=GEM)

女性が政治及び経済活動に参加し、意思決定に参加できるかどうかを測るものです。

具体的には、国会議員に占める女性の割合、専門職・技術職に占める女性割合、管理職に占める女性割合、男女の推定勤労所得を用いて算出しています。

課題(中項目) 1 - 1

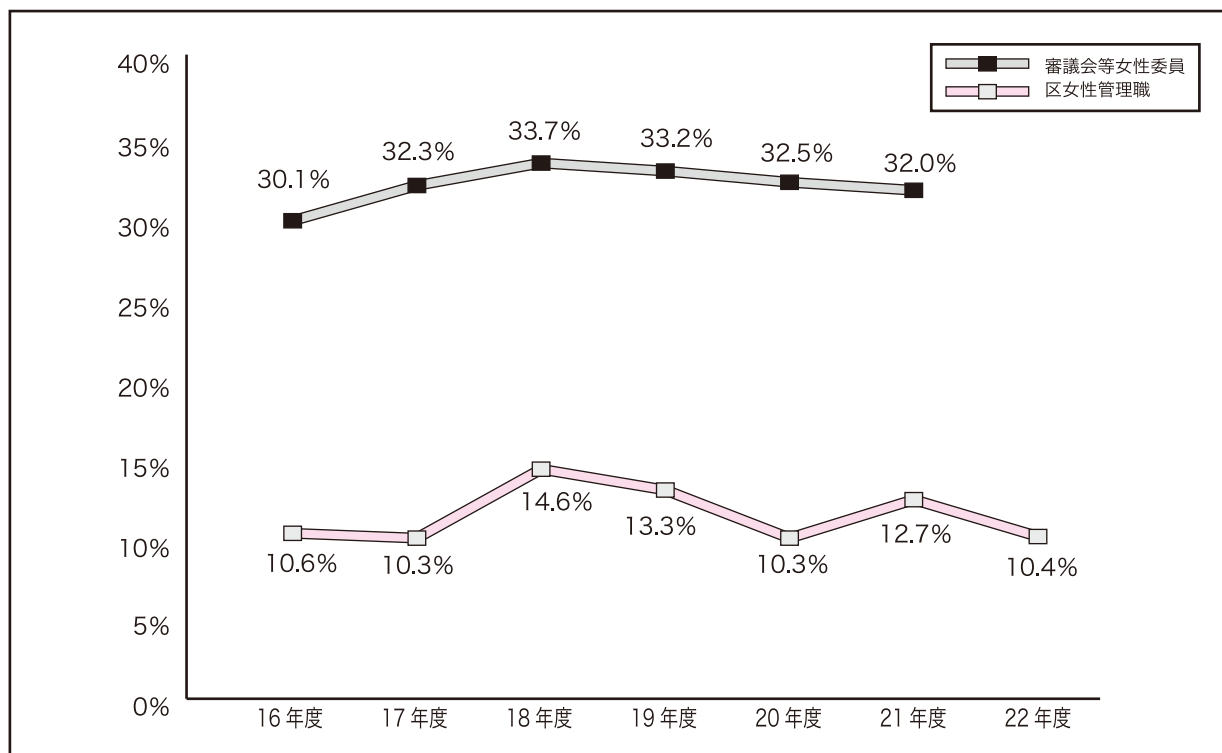
政策決定及び意思決定過程への女平等・共同参画の推進

男女平等・共同参画を推進するためには、男女が共に政策決定や意思決定をする過程に参画することが重要です。

区では、「目黒区基本計画（平成22年度～平成31年度）」において、審議会等の女性委員の割合を50%にするという目標を掲げています。しかし、平成22年3月1日時点の数値は32.0%と、目標値には近づいていません。

また、区の女性管理職の割合についても、約1割と低い状況にあります。

【政策決定及び意思決定過程への女性の参画状況の推移】



このように、政策決定・意思決定の過程が一方の性に偏っていることは、多様な意見が反映されにくいだけでなく、女性が能力を伸ばす機会が少なくなるという意味でも、望ましい状況ではありません。

これらのことを踏まえ、男女がバランスよく政策決定・意思決定の過程に参画できるように、ポジティブ・アクション^{※1}をはじめとした施策を推進していきます。

※1 ポジティブ・アクション=Positive Action

積極的改善措置。あらゆる分野に参画する機会について、男女間の格差を改善するための自主的かつ積極的な取組をいいます。これは、男女の実質的な機会の平等を目指すものであり、さまざまな人々の差異を無視して一律平等に扱うという結果の平等まで求めるものではありません。

施策の方向（小項目）① 審議会などにおける男女平等・共同参画の推進

事業番号	事業名	事業概要	所管	区分
1	審議会などへの女性の積極的登用	附属機関等の委員選定に当たっては、女性委員50%の目標に向けて取組を進めるため、改選時の女性委員の選出依頼と改選結果の報告を求め、女性の登用に努めます。	関係各課 (政策企画課)	継続
2	区政モニターへの男女平等の機会の確保	区政モニターの構成員の男女比率が一方の性に偏らないよう配慮し、男女平等の機会を確保します。	区民の声課	継続
3	女性の人材活用	国立女性教育会館で整備している「男女共同参画人材情報データベース」などについて各課に周知し、女性の人材活用を進めます。	人権政策課	継続

施策の方向（小項目）② ポジティブ・アクションの推進

事業番号	事業名	事業概要	所管	区分
4	女性職員の育成の推進	管理職試験・係長試験・主任主事試験の受験奨励などで女性職員の育成を推進します。	全課 (人事課)	継続
5	女性の参画促進に向けた啓発	あらゆる分野に女性の参画促進を図るための啓発を行います。	人権政策課	継続
6	女性の人材育成講座の開催	女性の参画意識の醸成及びリーダー育成を目的とした講座を開催します。	人権政策課 生涯学習課	継続
7	派遣研修の実施	リーダー育成を目的に、女性団体の構成員に対する研修派遣及び会議などへの参加支援を行います。	人権政策課	継続

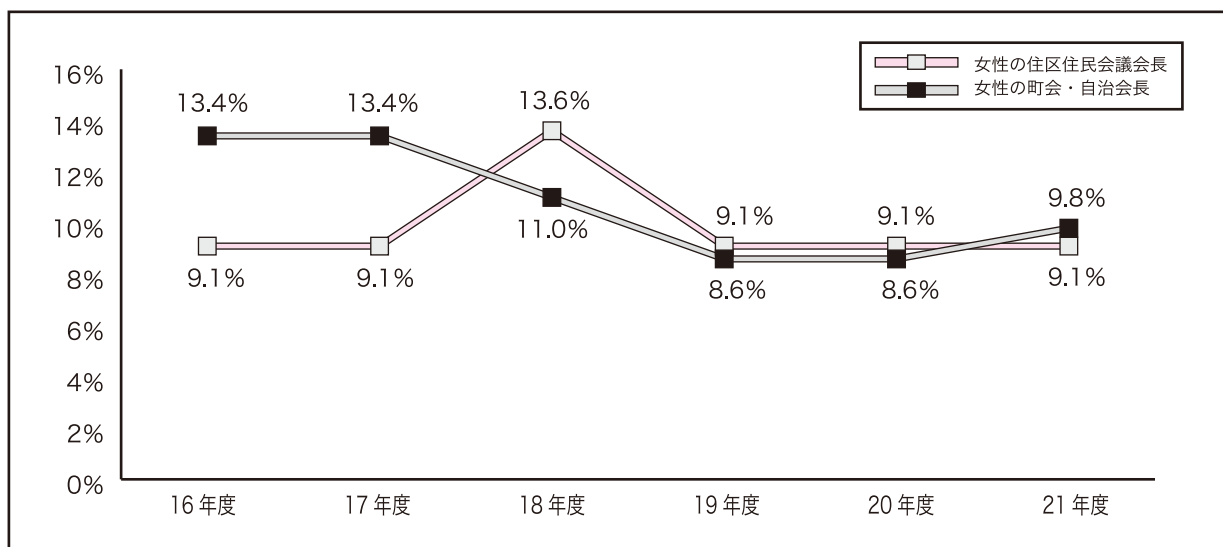
課題(中項目) 1-2

地域、団体活動の充実と男女平等・共同参画の促進

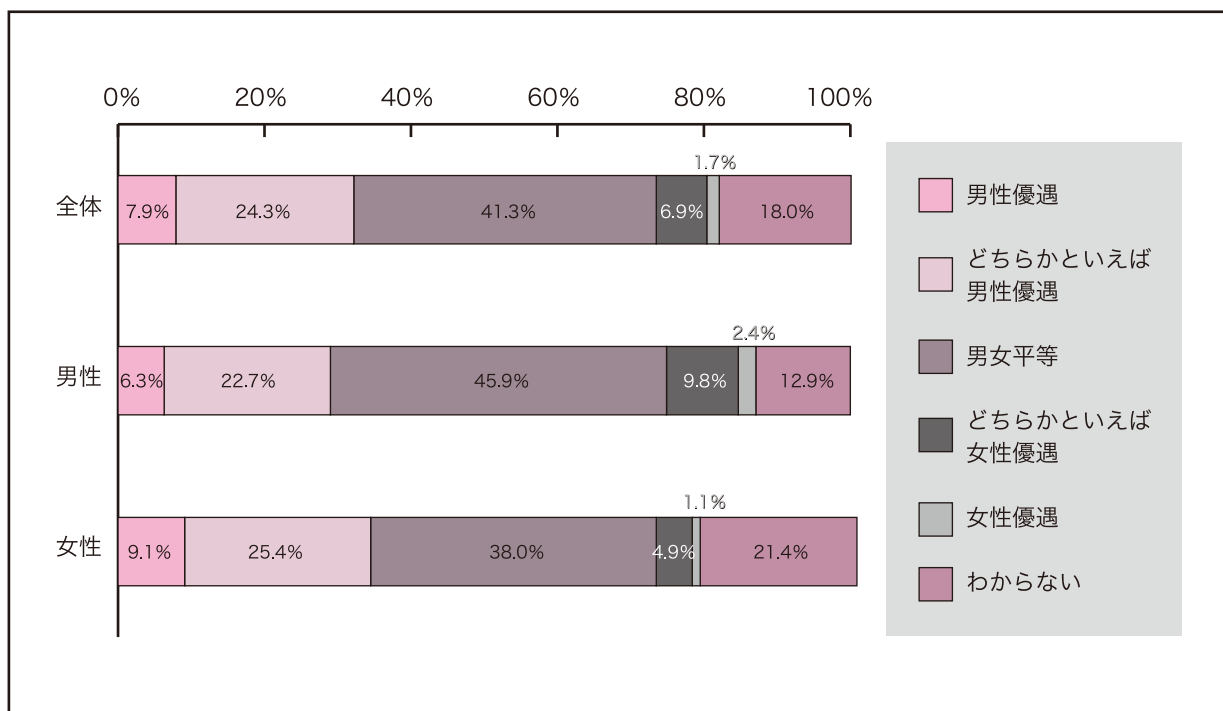
地域活動の代表者は、大多数が男性であり、女性の割合は圧倒的に少ない状況です。

また、「平成22年度男女平等・共同参画に関する意識調査」の結果では、「地域活動の場においては女性よりも男性が優遇されている」という区民の意識が表れています。

【地域活動代表者の女性割合の推移】



【地域の活動や行事での男女平等意識】



平成22年度日黒区男女平等・共同参画に関する意識調査

これらの状況を改善し、地域活動に多様な意見を反映させることが課題となっています。地域活動への参加促進に向けては、引き続き、男女が共に参加しやすい時間帯での講座の設定や一時保育の実施など、環境整備に努めます。

また、団塊の世代が定年を迎え、仕事等で培った知識や経験などを活かせる場の提供が課題となっています。男女が共に、地域・団体活動に参加し、活躍できるよう、総合的な支援を進めていきます。